



## 《上腕骨近位端骨折》

### ・ 上腕骨近位端骨折とは？

上腕骨（二の腕の骨）の肩に近い部分に起こった骨折で、転んで手をつく・肩から落ちるなど、腕に強い力が加わったときに起こります。

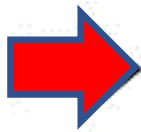
骨折に加えて、同時に脱臼を伴うこともあり、**高齢者の転倒における四大骨折**（他には脊椎圧迫骨折、大腿骨近位部骨折、橈骨遠位端骨折）のうちの1つに数えられている疾患です。

### ・ 検査/診断

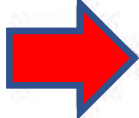
まずレントゲン撮影を行います。その後、骨折が複雑であるか、またはレントゲン上でよく描出されない場合、CTを施行します。

比較的軽い骨折の場合は、三角巾や固定帯（バストバンド）による固定ならびに早期のリハビリによって治療します。

比較的ひどい骨折の場合には整形外科医師の判断により、髄内釘固定、プレート固定、人工骨頭置換術などの手術が選択されることがあります。



髄内釘  
固定術



プレート  
固定術

